

守口市立大久保中学校

防災・防犯だより2

線状降水帯の対策方法は？

線状降水帯は、空気中の湿気が多く、かつ気温が高い状況で起こりやすいといわれており、

梅雨の時期

台風や熱帯低気圧の発生時

水温、地温の上がりやすい夏季

には特に注意が必要です。

予兆が少なく、急に発生することも多くありますので、発表された時点ですでに雨が降っている場合もあるため、以下のような点に注意して対策をとることが大切です。

- ① 外出や屋外での作業を避ける
- ② 川沿い・海沿いに近づかない
- ③ 避難所への避難・垂直避難・在宅避難など、状況に応じて適切な避難を行う
- ④ 気象情報・自治体からの避難情報を随時確認する

また、雨だけではなく、雷をとまうことも多いので、以下のような落雷対策にも気を付けましょう。

- ① 近くに高いものがあると、これを通して落ちる傾向があります。グラウンドやゴルフ場、屋外プール、堤防や砂浜、海上などの開けた場所や、山頂や尾根などの高いところなどでは、人に落雷しやすくなるので、できるだけ早く安全な空間に避難して下さい。
- ② 鉄筋コンクリート建築、自動車、バス、列車の内部は比較的安全な空間です。
- ③ 木造建築の内部も基本的に安全ですが、全ての電気器具、天井・壁から1m以上離れれば更に安全です。
- ④ 屋外では、高い場所から一定距離離れた場所で、待機することを心がけましょう。(右図)

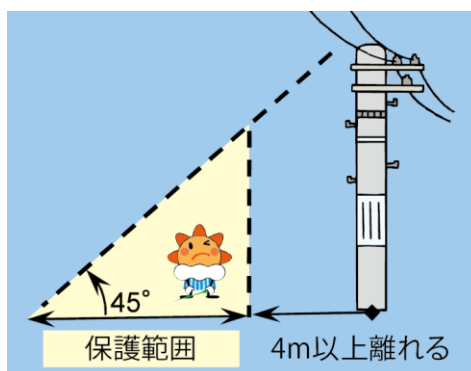
台風の接近等に伴う生徒の対応について

- (1) 午前7時現在で暴風警報(「東部大阪」区域または「守口市」)および特別警報が発令中の場合は自宅待機とする。
- (2) 午前10時までに上記の警報が解除された場合は登校する。
- (3) 午前10時以降も上記の警報が発令中の場合は休校とする。

地震発生時における生徒の対応について

- (1) 生徒の登校以前に、守口市域に「震度5弱」以上の地震が発生した場合は休校とする。
- (2) 「震度5弱」未満であっても、被害の状況に応じ、自宅待機とする

学校からの指示がない場合でも、「生命の安全」を第一にご判断ください



雷から身を守るには ― 安全対策 Q&A ― : 日本大気電気学会 から引用

まずは、「命を守ること」を最優先に、

安全対策に取り組みましょう！